こどもまんなか
こども家庭庁

第4回児童厚生施設及び放課後児童クラブに関する専門委員会	資料
令和7年9月5日	3-1

社会保障審議会児童部会「遊びのプログラム等に関する専門委員会」の実施状況（平成27～令和４年度）及びこども家庭庁「児童館等における遊びのプログラムに関する調査研究事業」の実施状況（令和５～６年度）

1. 平成27年度の主な実施状況

○　国立総合児童センター「こどもの城」が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査を実施して、全国の児童館においてこどもの城の実践が広く取り入れられた実態及びこどもの城が果たしてきた機能・役割を明らかにするとともに、児童館ガイドラインの評価・検証を行った。

2. 平成28年度の主な実施状況

○　「児童館等における「遊びのプログラム」の開発・普及に係る調査研究事業」として、全国16か所の児童館に対し、遊びのプログラムの実践（モデル事業）を委託し、子どもの成長発達にもたらす効果などを分析・検討した。専門委員が実施児童館に赴き助言を行うとともに、専門委員会においてそれらの遊びのプログラムの検証と、地域の児童館の果たすべき機能・役割を検討するため横断的な議論を行った。

3. 平成29年度の主な実施状況

○　厚生労働省の委託調査研究事業により全国の38か所の児童館等において開発・改良された39種類の遊びのプログラムを全国で実践する取組に対し、専門委員会から助言等を行うなど有機的に関わり、その成果物として「児童館等における遊びのプログラムマニュアル」がまとめられた。

○　専門委員会の下に「今後の地域の児童館等のあり方検討ワーキンググループ」を設置し、地域の児童館等が果たすべき機能及び役割を検討するとともに、「改正児童館ガイドライン（案）」について検討した。

4. 平成30年度の主な実施状況

○　「今後の地域の児童館等のあり方検討ワーキンググループ」で検討した、児童館ガイドラインの改正素案について、専門委員会での議論を経て、「児童館ガイドライン改正案」として厚生労働省に提案した。あわせて、報告書（「遊びのプログラムの普及啓発と今後の児童館のあり方について」平成30年9月20日）にまとめた。

5. 令和元年度の主な実施状況

○　厚生労働省の委託調査研究事業により、児童館ガイドラインに示されている活動内容に沿って、事例を収集し、実践事例集がまとめられた。また、3つのテーマ（野外遊び、運動遊び、発達支援）のプログラムを開発し、出前事業での検証作業、シンポジウムでの成果の公表や協議を実施した。

6. 令和2年度の主な実施状況

○　厚生労働省の委託事業により、新型コロナウイルス感染症の影響により児童館等で実施された、オンライン等による遊びの提供活動、感染拡大防止に配慮した遊びのプログラム、子ども・子育て家庭の支援、放課後児童クラブ・保育所等への支援等の事例を収集し、事例・調査データ集をまとめた。

○　児童館に期待される3つのテーマ（福祉的課題を抱える子育て家庭への支援、発達段階等に配慮した遊びのプログラム、非常時における児童館等の活動）のモデル的な事業実施について検討、意見交換を行い、令和3年度の委託事業に反映した。

7. 令和3年度の主な実施状況

○　委託事業により、児童館ガイドラインにおいて期待される機能として「子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生予防・早期発見と対応」に関して、児童館において参照されたい取組（モデル事業）の企画・実施、評価等を実施し、報告書としてとりまとめ公開した。

○　「遊び及び生活を通した子どもの発達の増進」に関して、全国の児童館において参照されたい遊びのプログラムの開発等を実施し、多くの事業所で活用されるよう厚生労働省YouTubeチャンネルにて公開した。

○　感染症対策や災害時対応を念頭においたモデル的事業を実施し、その成果物として「非常時における児童館 とりくみハンドブック　～感染症・自然災害時の対応を考える～」を作成した。

8. 令和4年度の主な実施状況

○　令和3年度実施調査「全国児童館実態調査」において、劇遊び・表現活動遊びを実施している児童館を対象に追加調査を行い、課題や要望を洗い出し、児童館の特性を活かしたプログラムを企画検討した。また、児童館において児童福祉文化財（舞台芸術部門）のうち特に優れた作品の公演と、関連する体験プログラムを実施し、効果検証を実施した。

○　令和4年度をもって「遊びのプログラム等に関する専門委員会」での議論（全17回）を終了することを受け、こども家庭庁へ議論の橋渡しをするべく、その経過や成果、今後の議論として期待することを提言した。

以下、こども家庭庁移管後の「児童館等における遊びのプログラムに関する調査研究事業」について

9. 令和5・6年度の主な実施状況

○　これまでの審議結果を踏まえ、令和5年度には児童福祉文化財（児童劇等）、令和6年度には児童福祉文化財（絵本等の出版物）を活用した体験プログラムを地域の児童館等において実施し、効果や影響について検証を行い、遊びのプログラムの内容等の周知と児童福祉文化財の普及を目的として事例集をそれぞれ作成し、公開した。